

みどりの食料システム戦略の国内外に向けた発信

○ 総理、大臣・副大臣・政務官をはじめとして、あらゆる機会を捉えてみどりの食料システム戦略を国内外に発信

ASEAN+3（日中韓）首脳会議（2023年9月6日）

岸田総理大臣より、強靱で持続可能な農業及び食料システムの構築に向けた「**日ASEANみどり協カプラン**」の打ち出しを表明。



写真：
首相官邸HP

日本ASEAN友好協力50周年特別首脳会議（2023年12月17日）

岸田総理大臣より、「**日ASEANみどり協カプラン**」に基づき、強靱で持続可能な農業・食料システムの構築及び地域の食料安全保障の確保に向けた協力を強化していく旨発信。



写真：
首相官邸HP

日ASEAN農林大臣会合（2023年10月4日）

宮下農林水産大臣が共同議長を務め、強靱で持続可能な農業・食料システムの構築に向けて我が国が提案してきた「**日ASEANみどり協カプラン**」を採択。



写真左：
ASEAN事務局

COP28「食料・農業・水デー」（2023年12月10日）

宮下農林水産大臣より、COP28ジャパン・パビリオンの当省主催セミナーにおいて、「**日ASEANみどり協カプラン**」に基づき、強靱で持続可能な農業及び食料システムの構築に貢献していく旨発信。



ウッド・チェンジ協議会（2023年10月2日）

武村農林水産副大臣より、民間建築物等における木材利用促進による**カーボンニュートラルへの貢献**について発信。



国際農林水産業研究センター熱帯・島嶼研究拠点の視察・意見交換（2023年12月11日）

鈴木農林水産副大臣が**みどりの食料システム戦略**に資する技術の開発状況について現地視察し、アジア太平洋地域への展開について意見交換を実施。



日越外交関係樹立50周年記念イベント（2023年11月17日）

舞立農林水産大臣政務官より「みどりの食・農林水産・環境シンポジウム」において「**みどりの食料システム戦略**と日越協力」をテーマに「**日ASEANみどり協カプラン**」に基づく取組について講演。



ICEF（Innovation for Cool Earth Forum）（2023年10月4日）

高橋農林水産大臣政務官より、ICEF2023年次総会ウェルカムランチにて、「**みどりの食料システム戦略**」の取組や「**日ASEANみどり協カプラン**」について発信。

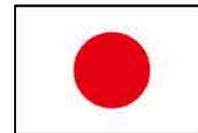


日ASEANみどり協カプラン

- 「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、ASEAN地域における強靱で持続可能な農業・食料システムの構築に向けて我が国から提案した「日ASEANみどり協カプラン」が、2023年10月の日ASEAN農林大臣会合（@マレーシア）において全会一致で採択。
- ASEAN各国のニーズに応じ、協カプロジェクトの推進に向けた協議、具体化を実行中。

・ 気候が高温多湿で病虫害のリスクが高く、水田農業を中心とし、小規模農家が多くを占めるなど、日本とASEAN地域は農業生産環境の共通点が多い。

・ 「みどりの食料システム戦略」を通じて我が国が培ってきた技術・イノベーションの活用により、ASEAN地域の生産力向上と持続性の両立、ひいては食料安全保障に貢献。



2023年10月4日
日ASEAN農林大臣会合において採択

実施に向けて調整を進めているプロジェクト例

プロジェクトの内容	対象国
トラクター、田植機等の自動操舵技術による生産性向上と労働時間の削減	タイ
衛星データを活用した農地自動区画化、土壌診断技術による肥料の削減	タイ、フィリピン
気候変動緩和促進のための二国間クレジット制度（JCM）プロジェクト	ベトナム、フィリピン
ICTを活用した水田の水管理の高度化による気候変動影響緩和	カンボジア、ラオス

・ 日ASEANみどり協カプランの実施により、農業・食料システム分野における日本とASEAN各国との協カ強化に加え、日本の技術の国際的普及、民間企業の海外展開の促進を目指す。

- 2023年12月の日本ASEAN友好協カ50周年特別首脳会議（@東京）において、「日ASEANみどり協カプラン」が共同ステートメントに位置づけ。

みどりの食料システム戦略の発信状況

- 令和3年5月に「みどりの食料システム戦略」を策定以降、多様な関係者に戦略を知っていただくため、また現場の前向きな取組を後押しするため、情報発信や意見交換を積み重ねてきた。
- みどりの食料システム戦略を主体的に発信する民間団体も現れており、今後も民間と連携した発信を推進。

「みどりの食料システム戦略」に係る意見交換

意見交換等の実施回数合計（令和5年12月31日時点）27,893回
本省：1,283回、地方農政局等：26,610回

インフルエンサーによるみどり戦略の発信

- ・インフルエンサーを招き、みどりの食料システム戦略をセミナー形式で紹介。
- ・出席したインフルエンサーによるInstagram等を通じた発信により、若い世代に訴求。



みどりの食料システムEXPOの開催

（一社）日本能率協会が10月に「九州みどりの食料システムEXPO」を開催し、機械・資材メーカー等が出展。令和6年3月5日～8日には東京ビッグサイトにて「みどりの食料システムEXPO」を開催予定。（農林水産省協力）

みどりの食料システム EXPO



サステナウィークの実施

- ・一人でも多くの人に「食と農林水産業のサステナビリティ」を知ってもらうため、あふの環（わ）プロジェクトメンバーの取組を一斉に情報発信。
- ・また「見える化」などを中心に事業者やメディアとタイアップし、情報発信。

期間：令和5年9月16日～29日



エコプロ2023における出展

- ・環境総合展である「エコプロ2023」（令和5年12月6～8日）において、小中学生を中心とする若い世代に対し、「みどりの食料システム戦略」で推進する持続可能な生産消費について、マンガやクイズで分かりやすく紹介。



アグリビジネス創出フェア2023における出展

- ・令和5年11月20日から22日まで東京ビッグサイトで開催された「アグリビジネス創出フェア2023」において、「みどりの食料システム戦略」や「見える化」について発信等。



将来世代に向けたみどりの食料システム戦略の理解浸透

○ 消費者の理解促進と行動変容に向けて、将来の消費市場の中核を担っていく世代に対し、各地方農政局等の若手や支局の職員が中心となり、創意工夫によりみどりの食料システム戦略の理解浸透を推進。

北海道



札幌支局による出前授業を受講した岩見沢農業高校生が、地域の中학생に向けたみどりの食料システム戦略の出前授業を自発的に実施

北海道



生協の宅配事業でオーガニック食品を購入した若い世代2100名に対し、イラストを凝らしたみどりの食料システム戦略の周知用パンフレットを配布

東北



山形県の農業女子と意見交換を実施し、「見える化」の訴求やみどりの食料システム戦略の消費者等へのPRの協力を依頼

東北



岩手県内の有機農業に取り組む農業者と食品関連事業者との意見交換を企画。今後、消費者を含めた意見交換の実施を計画

関東



持続可能な食を支える食育の推進に関連する取組と「みどりの食料システム戦略」を一体化した小中学生への出前授業を実施

関東



若手職員による情報発信チームがZ世代等をターゲットとして、食品ロス削減をテーマとした動画をBUZZ MAFFで配信開始

北陸



夏休み子どもイベントにおいて、地球にやさしい農業パネルを展示。農政局独自の小冊子を作成し会場配布

北陸



「にいがたオーガニックフェスタ」において、ブース出展・パネル展示によりみどりの食料システム戦略をPR

東海



東海学園大学との合同イベントを開催し、学生作成のESG消費推進資材を若手職員と体験するワークショップを実施

東海



東海管内で有機農産物や環境にやさしい農産物を扱っているお店の情報をマップ化し、東海農政局HPで公開するとともに、イベント等でPR

近畿



大阪府内の商業施設のサマーフェスタにおいて、「見える化」に取り組むスーパーの青果朝市でみどりの食料システム戦略をPR

近畿



フードストアソリューションズフェアにおいてみどりの食料システム戦略コーナーを設置し、管内のみどりの食料システム戦略の取組等を紹介

中国四国



有機農業推進PRプロジェクトでは、県、JAと連携して「おかやま有機農業フェア」を開催。「見える化」シールを貼った野菜の販売でみどりの食料システム戦略をPR

中国四国



生物多様性を学ぶための養蜂体験イベントを実施。若手職員が「環境に配慮した農業等の取組」を分かりやすく説明

九州



宮崎県内JA青年部と消費者相互の理解醸成を図り、みどりの食料システム戦略を推進するため、第1回意見交換会を開催

九州



若手職員で構成する『九州農政局チャレンジチーム』を設置し、若者世代に向けた有機農産物等への関心を高める情報をインスタグラムにより発信

沖縄



沖縄管内の農林高校の生産物即売会において、ブース出展・パネル展示を実施し、若手職員がみどりの食料システム戦略をPR

沖縄



若者の理解を深めようため、琉球大学農学部学生に対してみどりの食料システム戦略の特別講義を実施